

## ニセウの森づくり運営委員会(東川町)

# 誰でも気軽に簡単に月に一度は森づくり

## (森林空間利用タイプ活動報告)



報告者/  
山口ちえさん

山口 ニセウの森づくり運営委員会の山口と申します。ニセウの森づくり運営委員会は、東川町にあるキトウシ森林公園の中にある森の一角を活動の拠点としています。キトウシ森林公園という場所は、多くの方が様々な楽しみ方をしている公園です。春は、カタクリの咲く場所があるので、植物の好きな方は植物観察に來たり、動物の好きな方は野鳥の観察を行ったり、(写真1)開けている公園で、水遊びやキャンプをする場所があり、親子が利用しています。スキー場も隣接しているので、冬はスキーやスノーシューを楽しむ方がいるような場所です。地域の里山の様な感覚で利用されている方が多く、そのような人達を、いかに森づくりの活動に取り込んでいくかを考えて、ニセウの森づくり運営委員会が出来ました。森で遊びたい人や子供を森へ連れていきたい人もいますので、交流の場所を作る事を目的としています。公園なので、宿泊施設などが整っているので利用しやすい場所です。また、オープン予定の東川町の森林体験館が活動地の近くに建てられており、利用しやすくなると思っています。取り組みの内容ですが、「コミもり」という言葉があり、その概念を取り入れた活動を、今年度から開始しています。「コミもり」は、森のお手入れという手法を活用して「コミュニティ再生」を達成することです。森そのものの機能回復・維持を促すだけでなく、様々な人が出会い、関わり、協力し合うことに重きをおき、

助け合う、認め合う、分かち合う相互扶助的な地域集団を、世の中にもう一度創出・再構築することを目指しています。自然観察が好きな人、子供を森へ連れていきたい人は、同じフィールドにしながら交流することがありません。そういった人達が交流できる場所を作っていきたいと思っています。森のようちえんを一つの活動としています。対象を3歳以上子と親としてきましたが、だんだん低年齢化してきて赤ちゃんを森に連れていきたいというお母さんが増えてきました。また、働いている幼稚園や保育所で活動を取り入れたいという人たちも集まっています。

森のプレーパークは森のようちえんの次に大きい子どもが対象で、大人が森づくりの作業をしている間、自由に遊べる場所として作っています。子どもは場所があれば自分達で遊びます。ここは大学生が、森のお手入れをしながら子ども達とどう関わるか考える勉強の場になっています。こちらは(写真2)森の中で薪ストーブを使って料理をするなど利用方法を模索する場所としています。初めは、お母さんたちが森の中で癒されるという目的でしたが、お父さんや不登校の子どもなどが森のキッチンとして利用したりしています。様々な目的で色々な人が利用しています。

森の調査は、植物や森に詳しい人が行っていた調査を、女性や中学生など、今まで関心の薄かった人を取り込む方法を試行しています。東川町には森に関係する知識がある人がたくさんいるので、たくさんの人に教える新たな調査をしたいと始めた活動です。

9月にホースセラピー体験会を行いました。道産子を1週間ほど公園内に放牧しました。対象者は障害のある方としました。養護学校に声をかけたのですが、今まで森に行くチャンスがなかった人が、馬に会えるという事で、動物好きな人が森に入るきっかけを作ることが出来ました。今1年目なので森に入ってもらっ色々な仕掛けをしている所ですが、数回行った中での成果としては、今までは自然体験活動に関心の高い層の参



写真 1

加が多かったのですが、東川町民の参加が多くなりました。また、馬を通して普段関わることのない人と交流することが出来ました。こうやって森の中に馬がいると、馬を心配して来る地元の男性達と交流するということもありました。公園内には色々なタイプの森があります。一般の人が入ることのない森の整備も進められて新たな発見があるなど、みなさんに楽しんで頂いています。また、子ども達が芝刈り体験をして、それをきっかけに森のお手入れについて勉強していけたらと思います。

課題は、うるしが多く森に入れない状況が続いていることです。また、プログラムに参加するだけの人が多いので、自ら森のお手入れについて考えられるような人材を増やしたいと思っています。まだ1年目なので、森に入ってもらい、関心を持ってもらうことに重点を置いてきましたが、今後は定期的に同じ人にイベントに参加して頂いて、自主的に活動を展開して頂けたら良いと思っています。

#### 〈質疑〉

**質問1** 大人たちが手入れをしている際、子ども達が遊ぶ場がありましたが、具体的にメンバーのみなさんで、草刈りなどの活動を一緒に合わせて行っているのでしょうか。

**山口** 今回、「森林空間利用タイプ」のお話をさせて頂きましたが、別の活動で行っています。実際に公園

を整備している方もいらっしゃるので、協同して森の整備をしています。

**質問2** うるしにはどのくらいの割合でどのような人がかかり、対処しているのですか。

**山口** 被害はスタッフ位です。うるしが出る場所は子供が入れない様に、エリア分けしています。

**質問3** 現在まで公園を整備してきた方との関係はどうなっているのですか。

**山口** そのまま整備を続けていらっしゃいます。元々、何となくエリア分けされていまして。今森林組合が管理する場所を、ゆくゆくは地元市民が管理出来るように役場の方と話し合いをしながら進めています。



写真 2